

マレットゴルフ

プレーに関する規則

打数の決定

- 1、プレーヤーのストローク数とペナルティー数を加えた数を打数とする。
- 2、アドレス(プレーヤーが足の間隔をとり、打つ構えをすること。)後の空振りはストローク数とする。

球の打ち方

- 1、球はスティックのフェイス面で打つ。他の部分で打った場合は、元の位置から打ち直し、1ストローク付け加える。
- 2、股打ち、押し打ち、かき寄せなどのスイングをした場合は、元の位置から打ち直し、1ストローク付け加える。

オナーの権利と打順

- 1、スタートホールのオナーは、競技開始に先立ち、抽選によって決める。
- 2、次のホールからは、前のホールのスコアの少ない順とする。同スコアの場合には、前ホールの上位順とする。
- 3、同じホールの2打以降は、ホールから遠い球のプレーヤーから先に打つ。

球と球の接触

- 1、自分の打球が同伴者の球に当たった場合、自球は停止位置から次のプレーをし、同伴者の球は元に戻る。ペナルティーはない。

アンプレイアブル

- 1、プレーヤーは、自分の打った球について、グリーンを除いてコース内のどの場所でも、アンプレイアブル(プレーヤーがプレー不能を判断する状況)を宣言し、スティックの柄の長さの範囲でリプレース(停止球を置きかえること)できる。ただし、この場

合1ペナルティーとなる。

マークの要求

- 1、 同伴者の停止球が自分のプレーに不利を及ぼすと判断される場合、どの停止球にもマークをして除去を要求できる。
- 2、 除去された球は、その順番がくるまでリプレイスできない。
- 3、 マークは、ホールに対して球の真後ろにする。

ルースインペディメントの除去

- 1、 グリーン上の浮遊物は除去できる。

バンカーでのショット

- 1、 バンカー内のアドレスでは、ヘッドを地面(砂)に接することが出来ない。
- 2、 ヘッドを地面に接してプレーをした場合は、1ペナルティーとなる。
- 3、 地面に接したがプレーしなかった場合、同伴者の同意をえて、バンカーを元の状態に戻す。この場合ペナルティーはない。

ギブアップ

- 1、 各ホールのパースコアの2倍の打数を限度にそのホールでの競技を中止する。

マレットゴルフのルール(2)

平成12年6月、日本マレットゴルフ協会が「マレットゴルフルールブック」を発刊しました。この中には、マレットゴルフの歴史、ルール、基礎技術などが掲載されていますが、その中から「ペナルティーに関する規則」の抜粋を紹介します。わかりやすいイラスト入りです。

